

鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース

(第8号・2013.6.10発行)

発行: (略称) **コミバスをよくする会**
事務局(仮): 辻井良和 方
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36
電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

上田町で、4月18日

コミバス地域懇談会

出迎えバスが良い!

4月18日、上田町の老人クラブなどからの誘いがあり、本里公会堂で「コミバスをよくする会」の地域懇談会を開きました。自治会長や老人会長が参加され、約30名の参加者がありました。

辻井代表から、挨拶と簡単な運動の説明を行った後、橋詰事務局長から、玉城町の「元気バス」の説明とDVDの上映を行いました。そのあと、鈴鹿市で実施する場合は、どのような形のものが必要となるのかなどについて話し合いました。

上田町では、コミバスになって初めの頃は走っていたが、その後走らなくなったので大変不便になったこと、医者に行くのに誰かに乗せてもらうことになり、お互いに年をとり、車を運転できる人が少なくなってきたことなど、困っている声が沢山聞かれました。

玉城町の「元気バス」のような、予約制のバスが出来れば、タクシーのように使えて嬉しいという声



上田町での懇談会の模様

や、地域を少し広めに、隣町まで行けるようにして欲しいなど、実施する際に必要な気配りの意見も出しました。

「コミバスよくする会」では、このような意見を解決するために、オンデマンド(出迎え)バスを各地に作り、それらを一つに繋ぐ「中央循環バス路線」を設けることを説明しました。

会場では、アンケートをお願いし、一人ひとりのご意見を書いて頂きました。また会場には、地元会員さんのご好意で、お菓子やお茶が用意されており、和やかな話し合いが出来ました。

7月12日(金)11時から 鈴鹿市との懇談会予定

かねてから、鈴鹿市の施政方針にコミバスの充実を取り入れて欲しいと、末松市長に懇談の申し入れをしていました。

その回答が商業観光課を通してあり、7月12日金曜日、午前11時から市役所で行うことになりました。まだ末松市長は参加しませんが、宮崎副市長と大森副市長の2人と関係課長などが出席してくれます。結論を出す会議ではなく、懇談です。

みんなの願い

- ★無料または低料金にしてほしい。
- ★もっとコースを増やしてほしい。
- ★1時間に1本は走らせてほしい。
- ★乗り継ぎを無料にしてほしい。
- ★市内のどこへでも行けるようにしてほしい。

★高齢者の足の確保は、憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活」を守る上で、無くてはならないことです。

★玉城町の「元気バス」を実施した立役者の林総務課長が、その経験を報告してくれました。とても愉快な夢のある話が聞かれます。

★12日の分科会には、コミニティーバスの全国の経験が聞けるような分科会も用意されていて、辻井代表が司会を担当します。

今年9月12日と13日に、三重県で「第27回日本高齢者大会(全国から高齢者の仲間が集まる大きな会合)」が開かれます。

★年金者組合や医療福祉生活協同組合、老人会有志、婦人団体などが集まって実行委員会を作っています。コミバスをよくする会も、役員会でこれへの参加を決めました。

発車オーライ

碧南市 くるくるバスに乗りました

運転手さんが
気安く名前を呼んで

和気あいあいの車内

コミバスよくする会では、3月15日の金曜日、愛知県碧南市の無料バス「くるくるバス」の見学会を行い21人が参加しました。

朝8時に、鈴鹿市社会福祉センターに集まり、レンタカーのマイクロバスに乗って伊勢湾岸道路を通り、午前10時30分に碧南市役所に到着しました。

市役所には碧南市の担当職員と共に、このバスの運動を進めた下島良一碧南市議も出迎えてくれました。鈴鹿市からの参加者は、二つのグループに分かれてバスに乗り込みました。約1時間の試乗会を行い、11時45分頃市役所に戻りました。

市役所の食堂で昼食をとった後、会議室で担当課の職員から「くるくるバス」の運行状況、利用する市民の反応、運転手の配置と心がけなどについて説明を受けました。鈴鹿からの参加者は、試乗した感想を述べ合いました。

鈴鹿市で、同じには出来ないが

鈴鹿からの参加者みんなが感心したことは、利用者と運転手が顔見知りで、名前を呼んで気軽に話しかけていること、乗り降りも楽なバスにしていること、近くのお店に行くにもバスを利用していること、散歩に出かけ疲れたらバスに乗って帰るなど、高齢者が気兼ねなしに外出しやすくなったことなどの感



左は、愛知県碧南市の「くるくるバス」です。無料で、誰でも乗れて、市内を回ります。

想が出ました。

碧南市は、面積が鈴鹿市の5分の1ほどの街で、大部分が市街地なので、高齢者も多く利用も多いという実情にあります。

無料だから利用しやすい

碧南市では、一部議員から100円でも良いから有料にしたらと云う意見がありますが、有料にしたら利用者が大幅に減り、陸運局やバス会社からの干渉が強くなり、市民の福祉が大きく後退すると、今年も無料を継続しています。

鈴鹿市のコミバスも、この点を重視する必要があると感じました。
(辻井良和 記)

あなたの回りで 地域懇談会を開催しませんか

コミバスをよくする会では、今年の重点活動として、地域懇談会に取り組んでいます。

6月には江島2丁目で計画されていますし、近いうちに、箕田・長太地域ほか、各地で開催したいと話し合いをすすめています。

地域懇談会では、玉城町「元気バス」のDVD(11分)を観て「会」の考えている思いをお伝えしたあと、参加者の皆さんの率直なご意見をお聞きしする場として、全体で60分程度を予定しています。

自治会や老人会の役員の方々と相談して計画していただいても、あなたの知人2~3人でお集まりいただいても、どんな形でもけっこうですので、地域懇談会をやってみようと思う方は、世話人までご連絡ください。

世論を高め、会員を増やし、みんなの願いを実現させましょう。

あなたの声を 聞かせてください。



コミバスについて願っていること、自分にとって必要な理由、利用したい公共施設は何か、自分の利用方法など、あなたの声を届けてください。原稿は400字以内。「紙上匿名」でも結構ですが、原稿には本名と住所、電話番号を書いてください。写真のある方は送って下さい。可能な限り掲載いたします。

送り先は、このニュース右上の所です。